

2026年7月15日

京都信用金庫

**「こどもまんなかりーディングバンク」への当金庫の採択について**  
— 令和8年度「こどもとともに成長する企業」構想推進事業費補助金に採択されました —  
(みんなではぐくむ「こどもまんなか社会」を目指して)

コミュニティ・バンク京信（法人名：京都信用金庫、本店：京都市下京区、理事長：榊田 隆之、以下「当金庫」）は、この度、子ども家庭庁が実施する令和8年度「こどもとともに成長する企業」構想推進事業費補助金（「こどもとともに成長する企業」構想推進事業）の公募において、第1回（対象：地域金融機関）の採択事業者として選定されましたので、お知らせいたします。

本補助金は、民間企業が社員や顧客、地域社会のこども・子育てに資する取組を自律的に実施できるように支援し、優良事例を全国に展開することを目的としています。

当金庫は「こどもまんなかりーディングバンク」として、地域の「こどもまんなか社会」の実現に向けた重要なパートナーとなり、本事業を通じて地域企業の「こども・子育て支援」への取組を加速させてまいります。

## 記

### 1. 採択の背景と目的

少子化、人手不足が深刻化する中、企業の継続的な発展のためには、子育て世代を含む多様な人材が働きやすい環境づくりが不可欠です。また、家庭内における親子のゆとりある時間の確保や、こども・若者が将来に抱く不安の解消などが求められています。

このような社会課題の解決のためには、単なる「大人の働きやすさ改善」に留まらず、地域社会全体でこどもの成長を応援する環境づくりへ繋げることが重要です。そのため、地域企業と緊密な信頼関係を持つ当金庫がハブとなり、企業経営構造そのものに「こどもまんなか」の視点を組み込む伴走支援を実施することで、行政の施策だけでは届きにくい中小企業の経営層に対し、意識改革と具体的な行動を促します。

当金庫は地域金融機関として、法人と個人の両面にソリューションを持つ特性を活かし、「企業の働き方改革（企業の変革）」と、そこで働く「社員の家庭環境の改善（家族のゆとり）」を一体的に推進・解決する役割を担います。

### 2. 「取組支援事業者」としての5つの重点取り組み内容

#### （1）【トップコミットメント】経営陣による方針開示

「こどもまんなか宣言」の発信と、成果の可視化と明示

#### （2）【企業内の業務改革】「こどもとともに成長する企業」最先端モデルの体現

当金庫内の制度改革と効果、実証ノウハウの地域還元

#### （3）【本業支援】ソーシャル企業認証制度 S 認証のネットワークを活かした伴走コンサルティング

地域企業2社を先駆的モデルケースとし、子育て支援事業を企業の成長につなげる伴走支援

#### （4）【投融資】「こどもの未来」への貢献度を評価する金融商品の開発

客観的な評価基準の策定、専用商品のローンチ

#### （5）【場づくり】店舗や拠点のサードプレイス化と S 認証連携金融機関へのノウハウ波及

こども・若者の「安心の居場所」と「機会」の創出、S 認証連携金融機関との協業による広域展開



- ▲ 7月15日に OTEMACHI PLACE HALL&CONFERENCE（東京）で行われた記者発表の様子
- 左より 内閣府特命担当大臣 金融担当 片山 さつき様  
コミュニティ・バンク京信（京都信用金庫） 理事長 榎田 隆之  
内閣府特命担当大臣 こども政策担当 黄川田 仁志様

以上